

矯正歯科治療できれいな歯並びに

「健康と歯並びを考える市民フォーラム in 福岡」が11月20日、福岡市中央区天神のレソラN.T.夢天神ホールで開かれました。「子どもから大人まで楽しくわかる矯正歯科」を見て、聞いて、相談して」をサブテーマに、かみ合わせと健康に関する講演のほか、治療を受けた患者による体験談が披露され、参加者は熱心に聞き入っていました。フォーラム終了後には、無料相談会も行われました。開会挨拶で、日本臨床矯正歯科医会九州支部の清水義之氏は「私たち会員は切磋琢磨して技術向上を図っています。症例を通して参考になる話が聞けると思います」と開催の意義を強調しました。



歯並び・かみ合わせと健康について

日本臨床矯正歯科医会 会長 浅井 保彦氏

講演

歯並びやかみ合わせの問題があるケースで多いのは、叢生といわれるケースです。一般的には乱ぐい歯ともいわれ、永久歯が顎のスペースに並びきれず、歯がデコボコに生えてしまうもので、八重歯も乱ぐい歯のひとつです。こうしたケースでは、歯周病になりやすかったり、食べ物が歯に挟まるなどしてむし歯の原因にもなります。

下顎の歯全体が上顎の歯より前方に出るひどい状態（受け口など）を下顎前突と言います。手術を併用して矯正することもありますが、かみ合わせが悪いと顎関節症になってしまったりもありません。顎を開閉する際にクッションの役割を担っている関節円板の位置がずれ、顎の開閉に痛みが伴ったり、かくかくと音がしたりするという状態がよくある症状です。

先ほど叢生で歯周病になりやすいという話をしましたが、歯周病を放置すると糖尿病や心臓血管病などの全身疾患や、妊婦の場合は低体重児出産・早産などに影響があることが指摘されています。

日本歯科医師会が実施している「8020運動」で、当初は80歳で20本の歯を持った人の割合は、一桁台だったのが、今は二十歳が8020を達成。達成者の歯並びを調べると、一番多かったのは、かみ合わせが正常な人でした。また、矯正に対する患者調査によると、「痛かった」「お

金がかかった」という人に対して、「しゃべりやすくなった」「歯を見せて笑えるようになった」とプラス面を強調する人が多く、この点から、矯正はクオリティ・オブ・ライフ(QOL)を高める意義があります。健康は「歯から、口から、笑顔から」です。

矯正歯科治療に関して気になるのは、時期、医療機関、料金。適切な治療時期、タイミングがあるので、一般の病気のようには、必ずしも早期に治療を始めていいとは限りません。矯正歯科医師を見つけたら、①かかりつけの歯科医師に尋ねる②日本臨床矯正歯科医会のホームページで調べる③保健所や保健師さんに聞く④まわりの治療経験者に聞くなどの方法があります。

料金の目安は、本会の神奈川県支部の調査では、本格治療が60〜80万円。治療の難易度などで料金は変わります。

矯正装置の装着は恥ずかしいありません。きれいな歯並びという目標に向かってチャレンジしてください。

聞いてみたい！ 歯科矯正体験談

歯並びトーク

コーディネーター／浅井 保彦氏

解説／佐藤 英彦氏

体験者／戸沢 文子さん

体験者／丸山 衣里さん

司会／藤重 知子さん

トークの様子



司会 藤重知子さん

戸沢さんは上下各1本を抜き、矯正装置をそれぞれ表側から付けました。治療期間は約3年。

丸山さんは上の左右の小白歯を1本ずつ抜歯し、矯正装置を付けました。2年経過し、現在は仕上げの段階です。



戸沢さん・丸山さんの主治医

日本臨床矯正歯科医会 九州支部 佐藤 英彦氏

自然な笑顔に

きれいな歯並びで気持ちも明るく

浅井 矯正治療のきっかけを聞かせてください。

戸沢 歌手として人前に出ることが多く、きれいな歯並びにしたいと思ったのがきっかけです。矯正後は、自然に歯を見せて笑えることができるようになりました。

丸山 高校卒業後、前歯が1本出ているのがすごく気になって、口元を隠して笑ったり、おしゃべりしていました。でも、歯科衛生士として自信を持って患者さんと向きあおうと思って始めました。

浅井 発音は変わりましたか。矯正装置を付けた状態

で歌った際、お客さんやご主人の反応はどうでしたか。

戸沢 少し歯並びが気になっていたのですが、大きく口を開けて歌っていませんでした。矯正後、声は通り、発音もしっかりしたと思います。コンサートの後、お客さんから「矯正しているんですね」と声をかけられたことがあります。

夫・研吾さん 妻は口元を手で隠して笑うことが多かったのですが、治療後は明るく振る舞えるようになりました。歯並びが良くなれば、人も変わるのですね。

歯並びの“悩み”を“喜び”に

浅井 患者さんの心配は抜歯。2人は歯を抜いています。不安だったことも含めて話してください。

戸沢 抜歯前はドキドキして、寂しい気持ちでした。しかし、今は自分の思い描く歯並びに近づき、満足しています。

痛みもあるけれど喜びを実感

丸山 健康な歯を抜くのは抵抗がありましたが、歯並びがきれいになってよかったです。

浅井 矯正をするかどうか迷っている方に対してメッセージを。

戸沢 矯正装置は次第に自分の体の一部になっていき、抵抗感はなくなります。それを心に置いて頂ければと思います。

丸山 矯正は痛みを伴いますが、食事がしづらい面はありますが、矯正できれいになる喜びが実感できます。歯並びで悩んでいる方は、ぜひお勧めします。



歯科衛生士 丸山 衣里さん



相談者でにぎわう無料相談コーナー

質問や相談にも丁寧にアドバイス

治療年齢について質問があり、冒頭あいさつした清水氏が、71歳9か月の女性



日本臨床矯正歯科医会 九州支部 清水 義之氏

この後、会場のレソラN.T.夢天神ホールのホワイエに設けた無料相談コーナーでは、矯正歯科医が10のテーブルに分かれ、歯のチェックやアドバイスを丁寧に聞いていました。

治療した経過を説明し、浅井会長も高齢者や何人も治療しており、「歯茎の健康状態が良ければ年齢に制限はありません」と話していました。

矯正歯科医会とは？

歯科には一般歯科、歯周病、インプラントなど治療内容は様々。その中で、矯正歯科治療に特化している歯科医の団体が「日本臨床矯正歯科医会」。1972年に「よいかみ合わせと、きれいな歯並びによって心身の健康を育むこと」を目的に設立。支部は全国に12か所ある。会員になるには、矯正歯科治療5年以上の臨床経験を有し、診療機関の所在地会員1人を含む3人以上の推薦を受けなければならない。今年8月現在の会員数は459人、賛助会員数は33社。

代表的な取り組みは、会員と診療所全体の質の向上、スタッフ研修プログラム、患者本位のサポートシステム、矯正歯科の啓発活動など。このうち、患者サポートシステムは、患者のニ

ズに対応した矯正治療を受けられるのが特徴。治療は長期にわたるため、その最中に転居しても、同会が転居先にできるだけ近い矯正歯科を紹介する「転医システム」や万一、主治医が突然の事故や病気のため診療不能になった場合にも、別の会員が引き継ぐ「治療継続システム」がある。「転医」の場合は治療費の過不足も会の取り決め事項にそって清算される。

また、同会は8月8日を「歯並びの日」と定めて毎年、矯正装置（ブレース）がついた笑顔の写真コンテスト「ブレーススマイルコンテスト」を実施。患者の笑顔の写真とコメントをもとに入賞者を選んでいる。今回の「市民フォーラム」とともに啓発活動の一環。会はこのらを通じてきれいな歯並びだけでなく、かみ合わせの改善、咀嚼機能の向上、口全体の健康増進など総合的な「正しい矯正歯科治療」に取り組んでいる。